

刻々と、何が変わっているのか？

日本と原発 4年後

2015年7月25日13時 [東京都 新宿区]
放射線量 $0.0319 \mu\text{Sv}/\text{時}$

同日、同時間帯 [福島県 双葉郡 浪江町]
放射線量 $5.0 \mu\text{Sv}/\text{時}$



監督 河合弘之 (弁護士) 構成・監修 海渡雄一 (弁護士) 音楽 新垣隆
2015年 / 日本 / ドキュメンタリー / カラー / ステレオ / ビスタ / 138分 / 制作・配給・Kプロジェクト / ©Kプロジェクト

原発の仕組み・歴史・福島事故から現在に至るまで、弁護士視点で描かれる日本の原発のすべて。



知っていますか？原発のすべて。

原子力発電の仕組みとは、歴史とは、それを支える日本の社会構造とは。否定する人・推し進める人。避難生活を送る人たちは…



全国原発差し止め訴訟の先頭に立つ弁護士が描く原子力発電のすべて！
2014年に発表された映画『日本と原発 私たちは原発で幸せですか？』から1年。
刻々と変化する問題を新たに伝えるために、映画「日本と原発」は、その瞬間を記録して続けてゆく。



ピラミッドのように積み上がりながら、ふる里を侵蝕し続ける放射性廃棄物。
毎時5.0マイクロシーベルト！放射線量標識が立ち並ぶ常磐自動車道。
低線量被曝とは？ 母親たちの苦悩に答えはあるのか？
日本にも起こりうるテロ・戦争行為で原発は、自国に向けられた核兵器と化す。
高浜原発を止めた司法の判断！そして再稼働は…？
東元役員に下された強制起訴までの道のりとは…？

日本と原発 4年後

【取材にお応え頂いた方々】
佐藤 暁(原子力コンサルタント)／崎山比早子(医学博士)／小泉純一郎(第87～89代内閣総理大臣)／細川護熙(第79代内閣総理大臣)
近藤駿介(前原子力委員長)／木元教子(元原子力委員)／青木秀樹(弁護士)／飯田哲也(環境学者)／大島堅一(環境経済学者)
古賀茂明(元経産省)／田中三彦(元原子炉設計者)／馬場 有(浪江町長)／避難生活を送る方々
製作・監督：河合弘之 構成・監修：海渡雄一 音楽：新垣隆 制作協力：木村結 脚本・編集・監督補：拜身風太郎
2015年|日本|ドキュメンタリー|カラー|ステレオ|ビスタ|138分|制作・配給：Kプロジェクト|©Kプロジェクト nihontongenpatsu.com

映画『日本と原発 4年後』上映会 (河合弘之監督・上映時間138分)
上映日 2016年5月22日(日) 午前・午後 2回上映
午前の部 開場 午前9時30分 / 開演 午前10時00分
午後の部 開場 午後1時30分 / 開演 午後 2時00分
会場 和歌山市男女共生推進センター6Fホール (あいあいセンター内)
和歌山市小人町29番地 TEL: 073-432-4704
上映協力券 500円 (前売・当日とも) ※高校生以下無料
主催 映画『日本と原発 4年後』和歌山上映実行委員会
連絡先 TEL: 073-488-7355 (担当: 里崎) e-mail: satozaki04@gmail.com